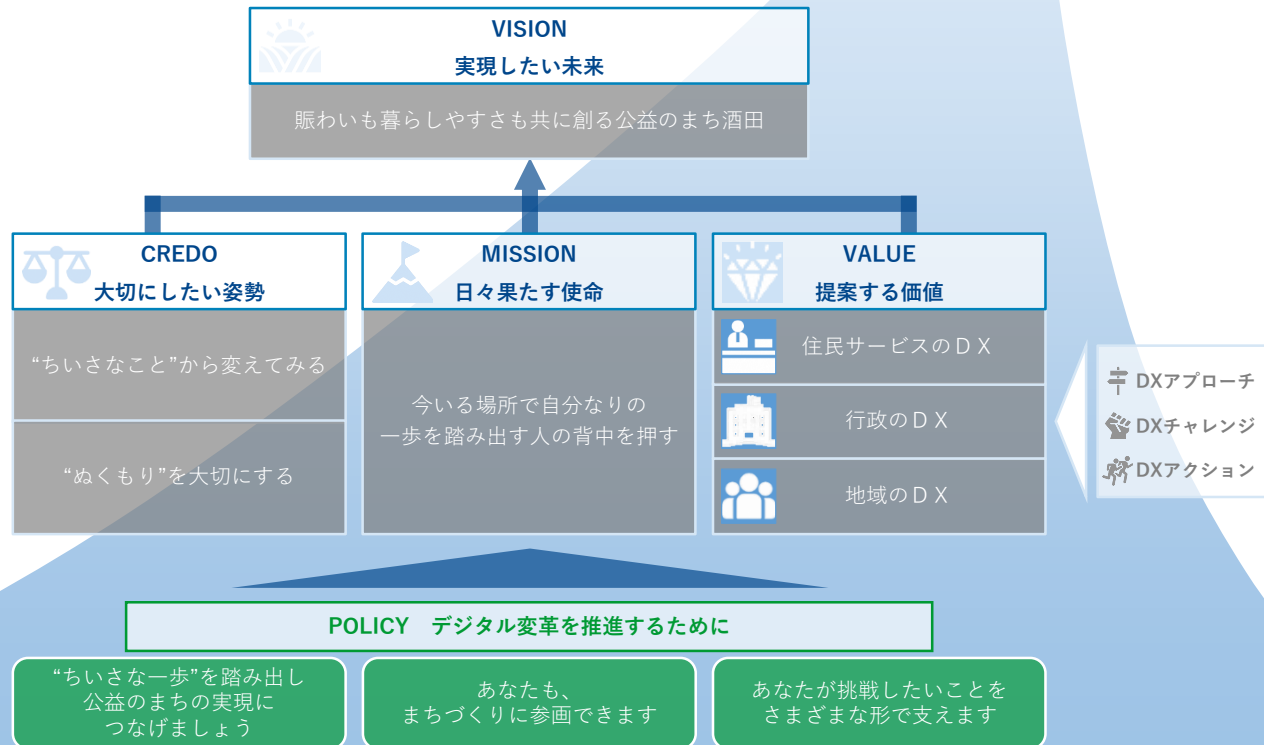


酒田市デジタル変革戦略





Ver.1.0

2021年 3月 酒田市



酒田市デジタル変革戦略の構成




基本理念

	VISION (実現したい未来)	: 賑わいも暮らしやすさも共に創る (ともにつくる) 公益のまち酒田
	MISSION (日々果たす使命)	: 今いる場所で自分なりの一歩を踏み出す人の背中を押す
	CREDO (大切にしたい姿勢)	: “ちいさなこと”から変えてみる / “ぬくもり”を大切にする
	VALUE (提案する価値)	: デジタル技術も活用することで 「住民サービスのDX」 「行政のDX」 「地域のDX」 を実現

方針

- デジタル変革を推進するために：**
- ① “ちいさな一歩”を踏み出し公益のまちの実現につなげましょう
 - ② あなたも、まちづくりに参画できます
 - ③ あなたが挑戦したいことをさまざまな形で支えます

具体的な取り組み

	住民サービスのDX	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者視点で、真に利便性の高い住民サービスを実現 ● いつでもどこでも、自分に合った方法で手続きや情報収集
	行政のDX	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部との協働や柔軟な働き方で創造的で活力ある業務を推進 ● 事務作業を削減し、市民一人ひとりに寄り添うサービスを提供
	地域のDX	<ul style="list-style-type: none"> ● 「デジタル×地域課題解決」に特化した産官学共創の仕組みを構築し、DXによる持続可能な地域の暮らしとソーシャルビジネスの共創を実現する <ul style="list-style-type: none"> ✓ デジタル技術で地域の豊かな暮らしを楽しく幸せに持続させる ✓ 地域の歴史・文化的な背景を理解し多様性ある地域文化を守る ● デジタル時代に即した新産業創出と、産業の生産性・稼ぐ力の向上を図る

酒田市デジタル変革戦略の基本理念



VISION 実現したい未来

※ 酒田市総合計画より

賑わいも暮らしやすさも共に創る（ともにつくる）公益のまち酒田

果敢にチャレンジできる
産業交流の盛んな港（湊）まち

五感をもてなす感動のまち

対話を通した
市民の参加があふれるまち

誰もがいきいきと暮らし
「住みたい」と思えるまち

CREDO：大切にしたい姿勢

“ちいさなこと”から変えてみる

- 変えること、変えないことをハッキリさせる。
- まず動いてみる。動きながら考える。
- 自分ごと（自分自身が置かれているその場所）から変えていく。
- 大小に関わらず、直視しなければいけない課題から目を背けない。

“ぬくもり”を大切にする

- 自分ごととして、市民一人ひとりの目線に立つために、暮らしの現場で得た情報から考える。
- テクノロジーによって、人と人のつながりを安易に置き換えない。
- 誰一人取り残さない。
- みんなで楽しみながら変えていく。



MISSION：日々果たす使命

今いる場所で自分なりの
一歩を踏み出す人の背中を押す

- 周りにどういった課題があるか、どのように解決できるかを常に考える。
- 課題解決に動き出そうとしている人がいるかの情報を集める。
- 一歩を踏み出そうとしている人を温かく見守る、応援する。
- 自分が関わることができるタイミング、役割、内容などを考え、行動する。
- 地域内外のネットワークを広げ、継続する。



VALUE：提案する価値

デジタル技術も活用することで



住民サービスのDX

生活や仕事に必要なサービスを求める市民に対して、サービスの認知や理解、手続きやサポートにかかる時間を短縮する。



行政のDX

市民一人ひとりにぬくもりのあるサービスを提供したいと考える市職員に対して、日々忙殺される事務的な業務を削減する。







地域のDX

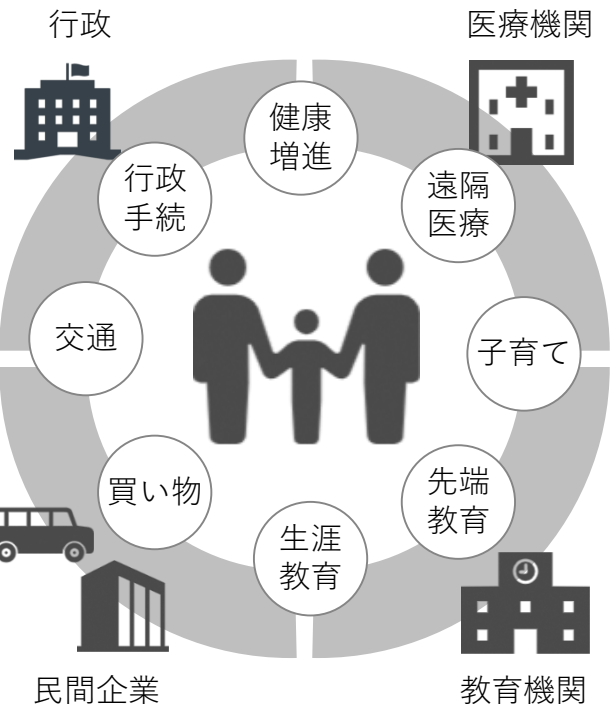
地域に暮らす、または地域と繋がりのある人々と共に、多様な暮らし方や仕事、地域との関わり方をつくりだしていく。

あなたにとってのデジタル変革とは？

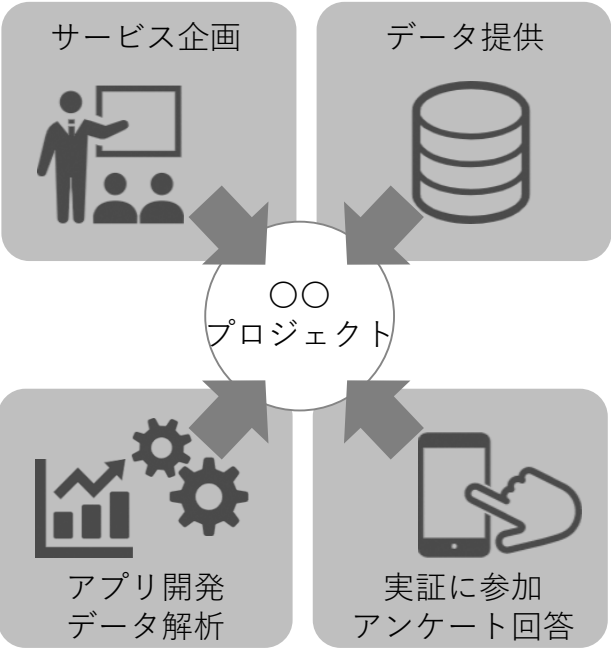
基本理念

-  **VISION** (実現したい未来) : 賑わいも暮らしやすさも共に創る (とものつくる) 公益のまち酒田
-  **MISSION** (日々果たす使命) : 今いる場所で自分なりの一步を踏み出す人の背中を押す
-  **CREDO** (大切にしたい姿勢) : “ちいさなこと”から変えてみる / “ぬくもり”を大切にする
-  **VALUE** (提案する価値) : デジタル技術も活用することで「住民サービスのDX」「行政のDX」「地域のDX」を実現

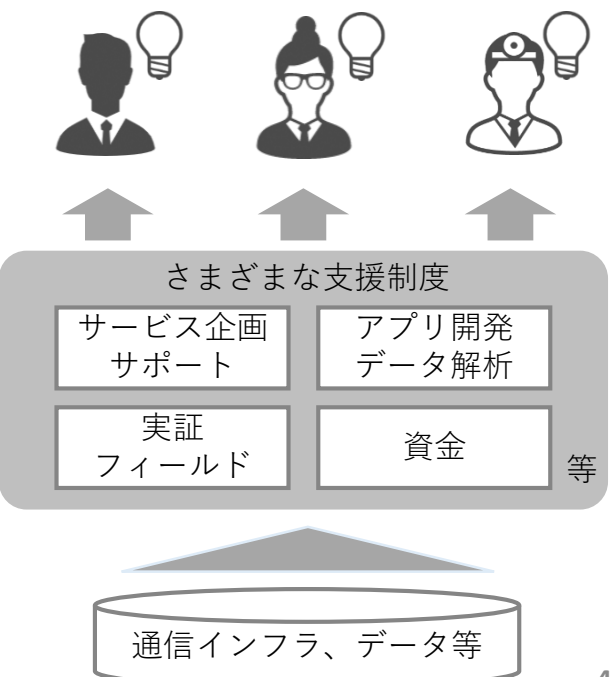
① “ちいさな一歩”を踏み出し
公益のまちの実現に
つなげましょう



② あなたも、
まちづくりに参画できます



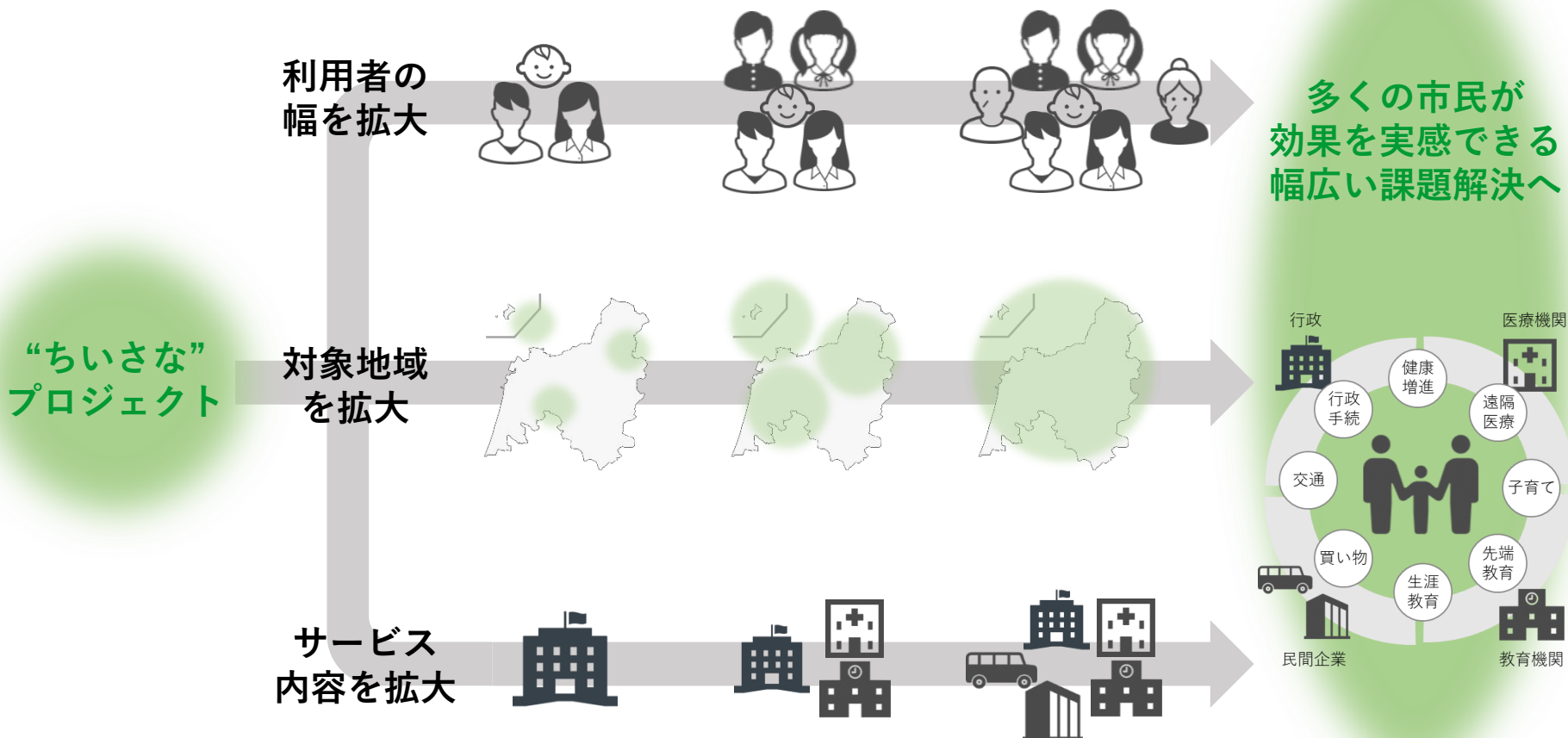
③ あなたが挑戦したいことを
さまざまな形で支えます



デジタル変革を推進するために：

①“ちいさな一歩”から段階的に公益のまちを実現

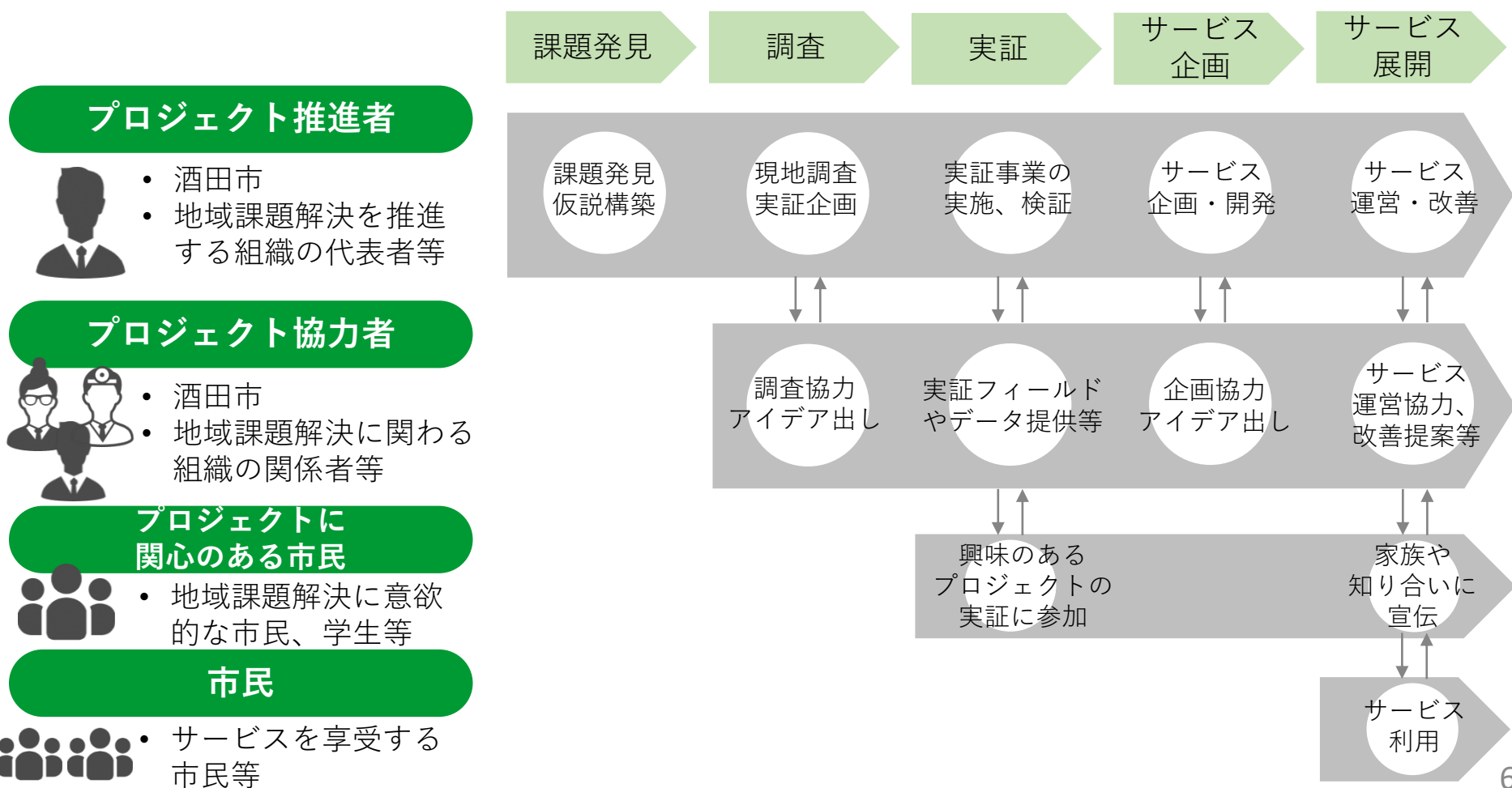
- まずは“ちいさな”プロジェクトから素早くスタートしましょう。
- そこから段階的に対象地域、サービス内容等を拡大しながら、多くの市民が効果を実感できる幅広い課題解決によるまちづくりを実現しませんか？



デジタル変革を推進するために：

②さまざまな形で一緒にまちづくりに参画

- 市民の参画の仕方は、さまざまです。自分が主体となるだけでなく、実証事業に参加したり、意見を伝えたりすることでも参画できます。
- 行政や公共団体と一緒にあって、ともにサービスを作っていきましょう。



デジタル変革を推進するために：

③あなたの挑戦を支えるさまざまな取り組み

- デジタル変革を自律的に推進していくため、DX人材の育成・共創ネットワークの拡大・プロジェクトを生み育てる活動に取り組むとともに、基盤となる通信インフラ、データ、ルール等の整備を推進します。



プロジェクトを生み育てる活動

行政・市民・企業等と一緒に課題に取り組み、デジタル技術を活用してサービスを生み出す

- ・ 産官学民共創の仕組み
- ・ さまざまな支援制度 等



DX人材の育成

デジタル技術やデータを活用して課題を解決するスキルを身に着ける

- ・ 地域で活躍できるDX人材の育成
- ・ 市職員の研修 等



共創ネットワークの拡大

共に課題解決に取り組む市内外の関係者とのネットワークを拡大する

- ・ 国の補助事業や実証事業の活用
- ・ 企業との共創プロジェクト 等

通信インフラ、データ、ルール等の整備

- ・ 飛島への高速通信網の敷設
- ・ オープンデータ※1活用推進 等

※1『オープンデータ』国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用（加工、編集、再配布等）できるよう、機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールで無償公開されたデータ

住民サービスのDX



課題

(課題意識はなにか)

- ✓ 利用者の属性や状況に応じたサービスの広報が必要
- ✓ サービスを受けるための複雑なルールや手続の解消
- ✓ 窓口へ行くことが困難な市民に対する手続き方法の拡充
- ✓ デジタル技術を活用した利便性に関する、民間サービスと行政サービス間の格差解消



DXチャレンジ

(なんのためにやるのか)

生活や仕事に必要なサービスを求める市民に対して、サービスの認知や理解、手続きやサポートにかかる時間を短縮する。



DXアプローチ

(どのようにやるのか)

サービスデザイン^{※1}を実践し、住民サービスのあり方を利用者視点に立って根本的に見直す。

以下の基本原則に基づき、市民と職員、双方の手続きにかかる時間を最小限にする。

- ① **デジタルファースト：**
行政手続を徹頭徹尾、一貫してデジタルで完結させる
- ② **ワンスオンリー：**
基本的には一度提出した情報は可能な限り二度提出せずに済むようにする
- ③ **コネクテッド・ワンストップ：**
関連する手続きが1ヶ所、1回で済ませられるようにする

短期的にはデジタルデバイス^{※2}の扱いに慣れている利用者を対象とし、効率化によって生まれた時間を、他の利用者へのサポートに活用する。

※1『サービスデザイン』サービスの利用者がどのように振る舞い、どのように考えているかを理解した上で利用者体験全体をデザインし、より良い状態に変えること

※2『デジタルデバイス』PCやスマートフォン、タブレット端末などのデジタル機器の総称

住民サービスのDX



DXアクション

(なにをやるのか)

- 利用者視点で、真に利便性の高い住民サービスを実現
- いつでもどこでも、自分に合った方法で手続きや情報収集

来庁不要な手続きはサッとオンラインで、
窓口ではきめ細やかなサポートを実施

マイナンバー
カード活用



キャッシュ
レス決済



個々の市民に必要な情報を
市民マイページ※1に配信

保育サービスの
申込み手続き



予防接種や
検診のお知らせ



育児の
悩み相談



いつでも、どこでも
自動応答サービスが問合せに24時間対応

〇〇のときに
必要な行政手
続きは？



近くにある
公共施設は？



災害時の
避難先は？

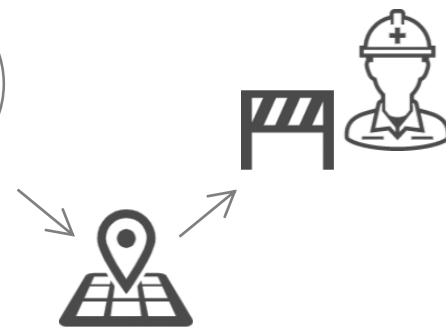


地域住民からの情報提供の受付による
迅速な対応

公共施設の
不具合



災害時の
被害状況



※1『市民マイページ』市民が自分のIDでログインすることで、自身に必要な住民サービスを利用したり、ニーズに合った情報を受け取れたりするwebサービス

行政のDX



課題

(課題意識はなにか)

- ✓ 市職員の働き方改革
- ✓ 公文書や意思決定プロセスの適切な管理による行政の透明性向上
- ✓ 行政コストの削減



DXチャレンジ

(なんのためにやるのか)

市民一人ひとりにぬくもりのあるサービスを提供したいと考える市職員に対して、日々忙殺される事務的な業務を削減する。



DXアプローチ

(どのようにやるのか)

個別最適化（単一業務の改善）に留まらず、部署や全庁を巻き込んだ全体最適化を目指す

部署を跨ぐ業務や意思決定プロセスを見直す

外部との協働を行いやすい環境を整える

コスト削減や業務量増減への柔軟な対応等の観点から、クラウドサービス^{※1}の採用を原則とする

行政のDX



DXアクション

(なにをやるのか)

- 外部との協働や柔軟な働き方で**創造的で活力ある業務**を推進
- 事務作業を削減し、**市民一人ひとりに寄り添うサービス**を提供

デジタル技術を活用し、行政内部のコミュニケーションや外部との協働を活性化

チャットの活用



オンライン会議

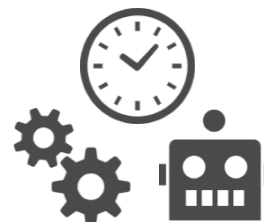


外部との協働環境



文書審査やデータ分析の自動化による業務処理の省力化

RPA※1/AIを活用した業務処理の効率化



ぬくもりのあるサービスへ注力



状況や環境に柔軟な働き方の推進による効率的で創造性の高い業務

出張先からの電子決裁



在宅ワーク



情報システムの標準化・共通化による効率的で柔軟なシステム運用

システム構築・運用コスト削減



他市町村との共同利用推進



制度変更等への迅速な対応



※1『RPA』ソフトウェア上のロボットによる業務工程の自動化

地域のDX



課題

(課題意識はなにか)

- ✓ 地域コミュニティの維持と若年層を中心とした活性化
- ✓ デジタル時代に即した新たな産業の創出
- ✓ 産業の生産性・稼ぐ力の向上
- ✓ デジタル技術の活用による距離や時間を超えた関係人口との交流や協働プロジェクトの推進



DXチャレンジ

(なんのためにやるのか)

地域に暮らす、または地域と繋がりのある人々と共に、多様な暮らし方や仕事、地域との関わり方をつくりだしていく。



DXアプローチ

(どのようにやるのか)

公益の文化を受け継いで地域の課題解決に取り組む当事者のチャレンジを支援する



現地で暮らす市民が、まちづくりを自分事として感じられるような対話・実践のプロセスを組み込む

地域内外に関わらず多様な主体を招き入れ、それまでにない新たな価値や仕組みを創造する

地域のDX



DXアクション
(なにをやるのか)

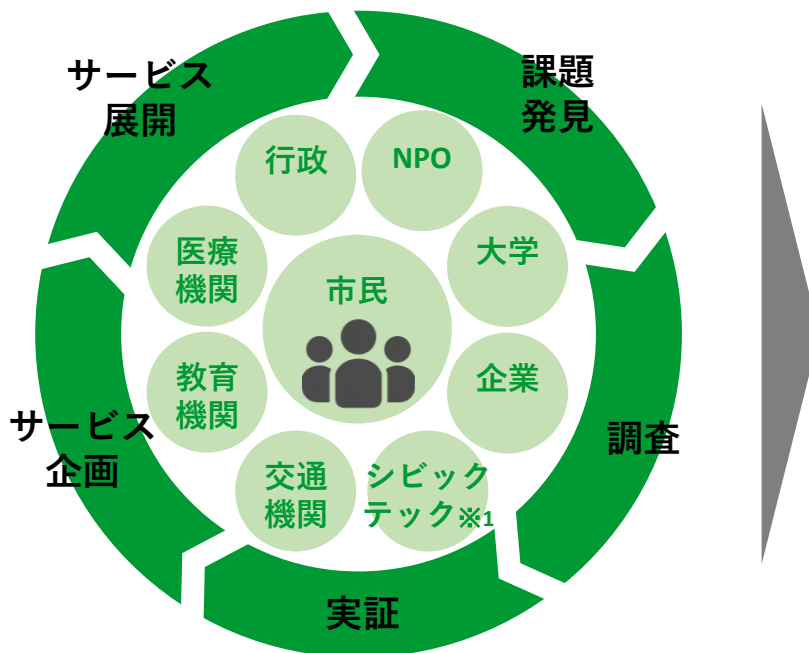
- 「デジタル×地域課題解決」に特化した産官学共創の仕組みを構築し、DXによる持続可能な地域の暮らしと、そのプロセスによって生まれるソーシャルビジネスの共創を実現する

「デジタル×地域課題解決」に特化した産官学民共創の仕組み



リビングラボ

社会の複雑な課題を住民と企業等の提供者が一緒になって生活環境で実験し、この共創と実装と評価と改善から新しいサービスや商品を生み出す一連の活動



プロジェクトテーマ (想定) :

- スマートモビリティ※2
- 地域公共交通
- 高齢者移動支援
- 回覧板のデジタル化
- ドローンを活用した物流
- 学校教育のデジタル化
- 教育現場のスマートインクルージョン※3
- eスポーツ※4による健康でいきいきした生活
- 伝統芸能の継承
- スマート農林水産業
- デジタル技術を活用した新しい観光体験
- 海洋ごみ削減
- フードロス削減
- 遠隔医療
- 個別化医療

※1 『シビックテック』シビック (Civic: 市民) とテック (Tech: テクノロジー) をかけあわせた造語。市民自身がテクノロジーを活用して社会課題等を解決する取組み
 ※2 『スマートモビリティ』IoTやAIを活用し、複数の交通サービスの連携や新しい移動サービス、貨客混載などの他サービスとの融合を図るサービスの総称
 ※3 『スマートインクルージョン』障害当事者参加型のICT機器・サービス開発により、国民全員が豊かな人生を享受できるインクルーシブ社会を実現するというコンセプト
 ※4 『eスポーツ』電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般。コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称

地域のDX



DXアクション

(なにをやるのか)

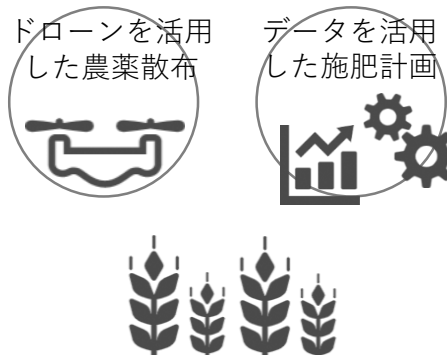
- デジタル技術で**地域の豊かな暮らしを楽しく幸せに持続**させる
- 地域の歴史・文化的な背景を理解し**多様な地域文化を守る**

日常健康データの可視化による 市民の健康促進



- 健康でいきいきとした生活
- 将来の医療費や介護費抑制

ドローンやデータを活用した スマート農林水産業



- 農業の生産性向上
- 新規就農促進

デジタル教材開発等による 学校教育の高度化



- 子どもたちの学力向上
- 子育て世帯が住み続けたいまちづくり

行政、自主防災組織、市民等の情報連携 による防災・減災のまちづくり



- 災害時の迅速な情報連携
- 安心・安全なまちづくり

地域のDX



DXアクション

(なにをやるのか)

- 地域産業のデジタル変革を促進し、デジタル時代に即した新たな産業の創出と、**産業の生産性・稼ぐ力の向上**を図る

中小企業のデジタル化支援

デジタルツールや活用事例の紹介



研修や相談会の実施



IT導入補助施策



デジタルビジネス創業・起業支援

創業・起業補助施策



共創イベント



マッチング



DX人材の育成

地域で活躍できるDX人材の育成

リカレント教育※1

デジタル技術活用人材の育成

- ・大学・短期大学校での社会人向け教育 等

創業、フリーランスで活躍する人材

- ・よろずIT女子育成プロジェクト※2 等

業界に特化したDX人材

- ・スマート農業研修センターにおける人材育成 等

若年層人材の育成

- ・高校生AI教育支援活動「やまがたAI部」※3 等

市民全体のITリテラシー※4向上

- ・市民向けスマートフォン活用セミナー 等

※1『リカレント教育』学校教育の終了後も、職業上必要な知識・技術を修得するために教育と就労を交互に繰り返す教育システムのこと

※2『よろずIT女子育成プロジェクト』酒田市産業振興まちづくりセンターサンロクが実施する、女性たちに新しい働き方を提案するプロジェクト

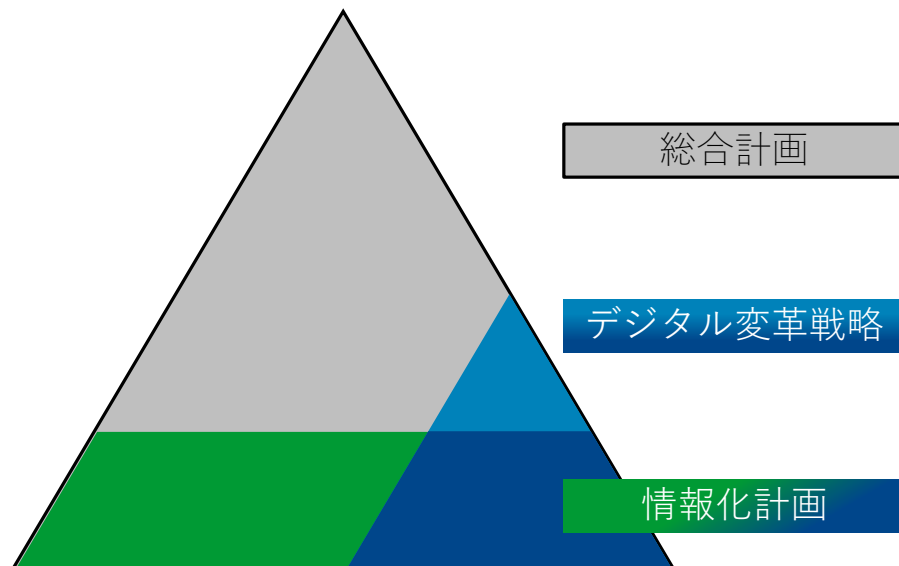
※3『やまがたAI部』山形県内高校を対象としたAI学習を通じた教育支援活動

※4『ITリテラシー』情報技術（IT）を自分の目的に合わせて活用できる能力のこと

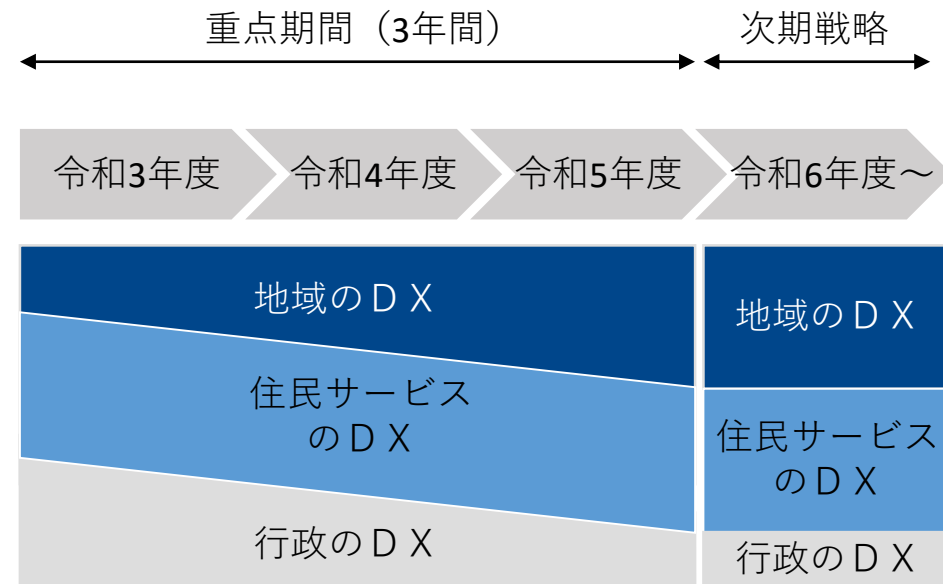
(参考) デジタル変革戦略の位置づけ・重点期間

主な関連計画	：	酒田市総合計画、酒田市情報化計画
重点期間	：	令和3年4月～令和6年3月
推進体制	：	CDO（最高デジタル変革責任者）、CDO補佐官、デジタル変革戦略室

位置づけ



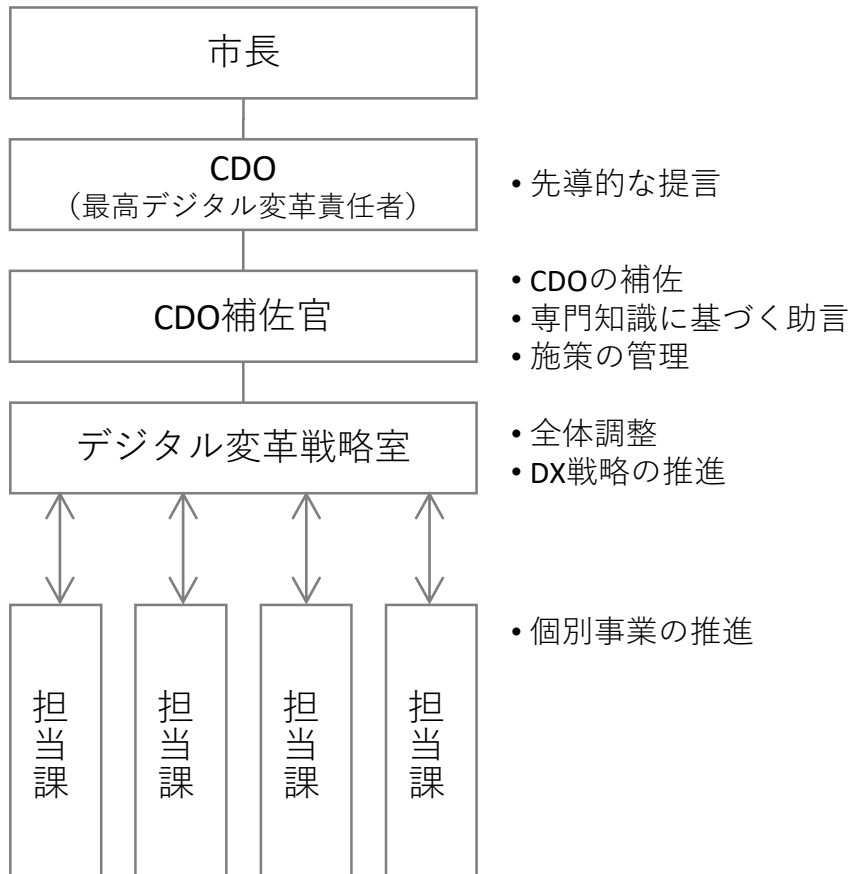
重点期間



(参考) 推進体制

酒田市

役割



デジタル変革推進に関する連携協定

酒田市と株式会社NTTデータ、東日本電信電話株式会社及び東北公益文科大学は令和2年11月11日、酒田市におけるデジタル変革推進による市民サービスの向上、地域課題の解決、デジタル人財の育成等を目的に、産学官共創の連携協定を締結しました。

<連携協定項目>

1. DXによる市民サービスの向上
2. DXによる地域課題の解決
3. DXによる大学まちづくり
4. DXによる行政の効率化
5. デジタル人財の育成及び人財交流
6. その他酒田市のDXに関すること



お問い合わせ

酒田市 企画部 情報企画課
デジタル変革戦略室

E-mail dx@city.sakata.lg.jp

Phone 0234-43-8336

※本戦略においては、状況に応じて「デジタル変革」を「DX」と表記しています。